

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	大規模構造物の便益評価に関する検討業務
業 務 概 要	モデルダムにおける正常流量の項目毎の便益算定 一式、研究会資料素案作成 一式、報告書作成 一式、環境配慮の条件 一式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 森田 康夫 福岡市博多区博多駅東2-10-7
契 約 年 月 日	令和 6年 8月 7日
契 約 業 者 名	日本工営（株）
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市博多区東比恵1-2-12
契 約 金 額	14,993,000円（税込み）
予 定 価 格	14,993,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙の通り
業 務 場 所	福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間（自）	令和 6年 8月 8日
履 行 期 間（至）	令和 6年12月27日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 大規模構造物の便益評価に関する検討業務
2. 履行場所 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市博多区東比恵1-2-12
会社名：日本工営株式会社 福岡支店
電 話：092-475-7131
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、ダム事業の費用対効果の算定のうち、「流水の正常な機能の維持（以下、「正常流量」という。）のための容量の便益については、既得水利の安定確保や河川環境の改善など、その効用を数値化することが困難な事項であり、容量全体としての便益を適切に算出する方法が確立されていないことから、当該容量の便益算定技術の向上のため、モデルダムにて便益算定検討を行い課題等の整理を行うことを目的に実施するものである。

2) 業務の内容

- | | |
|---------------------------|----|
| 1. 計画準備 | 1式 |
| 2. モデルダムにおける正常流量の項目毎の便益算定 | 1式 |
| 3. 研究会資料素案作成 | 1式 |
| 4. 報告書作成 | 1式 |

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「正常流量に関する便益算出にあたっての留意点」に係る技術力を備えていると判断される。

特に評価テーマの「正常流量に関する便益算出にあたっての留意点」に対する実現性について、提案を裏付ける内容が十分に示されており、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

河川部 河川計画課長